

愛知芸術文化センター（栄施設）施設指定管理者運営モニタリング結果（2024年度）

1 施設の概要

施設名	愛知芸術文化センター（栄施設）
所在地	名古屋市東区東桜一丁目13番2号
設置根拠	愛知芸術文化センター条例（平成4年（1992年） 供用開始）
設置目的	芸術文化の振興及び普及を図るため
施設概要	延床面積 109,062.07㎡ 地下5階・地上12階・塔屋1階建て、鉄骨鉄筋コンクリート造 主な施設 愛知県芸術劇場（大ホール、コンサートホール、小ホール、大・中リハーサル室） 愛知県文化情報センター（アートプラザ、アートのスペース） 愛知県美術館【県直営部分】
開館時間	午前9時から午後10時まで
休館日	毎月第1月曜日及び第3月曜日、年末年始

2 指定管理概要

指定管理者名	公益財団法人愛知県文化振興事業団
指定期間	第3期：2024年4月1日から2029年3月31日まで（第2期から継続） ※第1期：2014年4月1日から2019年3月31日まで ※第2期：2019年4月1日から2024年3月31日まで
指定管理者選定時の主な提案内容とその実施状況	愛知県芸術劇場の午前9時前の時間外利用への対応（2014年4月から実施）、芸術劇場支配人、プロデューサーや舞台技術職員等の設置による組織体制の強化（2014年4月から実施）、地域の特性や県民ニーズの動向、最新のトレンド等を踏まえた先駆的、実験的な舞台芸術への取組（2014年4月から実施）

3 利用状況

（単位：％）※アートプラザのみ人数

区分	2024年度		2023年度		増減 （①－②）
	計画値	実績値（①）	計画値	実績値（②）	
大ホール	—	84	—	81	3
コンサートホール	—	93	—	83	10
小ホール	—	78	—	79	△1
大リハーサル室	—	67	—	79	△12
中リハーサル室	—	100	—	98	2
アートのスペース	—	57	—	51	6
アートプラザ	—	225,063	—	180,005	45,058

※計画値とは、指定管理者を選定する際に提出された計画値を指します。

4 収支状況

（単位：千円）

区分	2024年度		2023年度		増減 （①－②）
	計画値	実績値（①）	計画値	実績値（②）	
収入計	1,844,842	1,908,520	1,838,391	1,668,876	239,644
利用料金収入	389,611	430,561	323,735	303,479	127,082
指定管理料	1,348,580	1,346,113	1,340,928	1,198,120	147,993
その他	106,651	131,846	173,728	167,277	△35,431
支出	1,844,842	1,850,855	1,838,391	1,670,265	180,590
収支差	0	57,665	0	△1,389	59,054

5 モニタリング結果

(1) 総合評価

評価	評価内容
A	2024 年度は第 3 期指定管理期間の初年度となるが、第 2 期に引き続き、芸術文化センターの施設運営は適切に実施されている。2023 年度に引き続き、アーティスト人材養成とともに、「舞台芸術人材養成ラボ」として総合的・体系的に人材養成事業の実施や「劇場と子ども 7 万人プロジェクト」などの普及啓発事業に取り組み、次代を担う子どもたちへの取組を推進するなど、芸術文化活動の継続に積極的に取り組んだことは高く評価できる。また、アンケート等により利用者ニーズの把握に努め、利用者が快適に施設を利用できるよう丁寧なサポートを行い、さらに、ファミリー・プログラムやミニセレなど、多種多様な公演事業を実施することができ、唐津絵理芸術監督のもと新作公演を展開するなど舞台芸術の創造・発信を行うとともに、県内の実演家団体や近隣の商業施設、市町村文化施設など幅広く連携・交流を図り、地域全体で芸術文化の振興に努めており、県の求める水準を満たしている運営であった。

(2) 区分ごとの評価

区分名称	評価	評価内容
基本項目	A	利用者の平等な利用の確保や施設の管理者として、関係法令の遵守、必要な資格の取得など県が求める水準で運営を行っている。
施設の適正な管理	A	施設の適正な管理に向けて、関係課室等との連携を図りながら保守点検や維持補修等を適切に実施しており、県が求める水準で運営を行っている。
サービスの維持・向上	S	質の高い舞台芸術の創造・発信に向けて、主催事業や利用者へのサポートを実施しており、県が求める水準を上回る運営を行っている。
運営等の安定性	A	日頃から省エネに努めており、収支状況、人員配置、財務状況なども適正であり、県が求める水準で運営を行っている。

【評価の基準】

評価	基準
S	県の求める水準と比べて、期待を上回る水準で管理運営されている。
A	概ね期待どおりの水準で施設運営がなされている。（協定書等の水準）
B	一部分を除き、概ね期待どおりの水準で施設運営がなされている。
C	県の求める水準と比べて不十分な状況である。

(3) 今後の対応等

引き続き、指定管理者と協力して本県の文化芸術の創造・発信に努める。

6 利用者からの反応

＜貸館利用者・自主事業来場者について＞

○利用者満足度調査：評価点平均が5.23点（6段階評定、最高6）

○自主事業来場者調査（来場者自記式調査）：「公演の内容に満足したか」という質問に対し、6段階（とてもそう思う・そう思う・まあそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・まったくそう思わない）で評定していただいた。回答者のうち、「とても満足」「満足」と回答した方は、アンケートを実施した全事業の相乗平均で、95.7%と、ご来場いただいたお客様のほとんどに満足いただけた。

＜来館者からの要望・苦情等及びその対応状況について＞

○オアシス 21 で自転車競技の公式戦が開催された際、参加者がアートパーク東海に車を駐車し、地下 2 階連絡通路を利用してオアシス 21 へ移動していたことについて、混雑や自転車での通行による危険性などについてご意見あり。

→総合案内が注意した。アートパーク東海の担当者へお客様からの意見を伝え、主催者やオアシス 21 へも伝えてもらうよう依頼した。

○アートパーク東海の駐車サービスが受けられる店舗や施設の表示がないため、インフォメーションや駐車場の精算機辺りに一覧表を置いてほしい。

→アートパーク東海へ情報共有。なお、精算機には特約店の一覧表の掲示、ホームページには最新情報を掲載している。

○2 階の玄関を入ったら、中学生と保護者が多く、邪魔だった。

→コンサートホールで中学校の合唱コンクールが開催されていた。事前打ち合わせで館内混雑がないよう生徒と保護者への周知を依頼していた。来年度も同様の利用があるため改めて苦情を伝えた上でお願いする。

○芸文センターの玄関入口が分かりづらいため看板を出した方が良いのではないかな。

→地上から楽屋口への案内広告板に「正面玄関」と追記した。

7 その他

なし

○ 問い合わせ先

県民文化局文化部文化芸術課改革第一グループ

電話：052-954-7476（ダイヤルイン）

ファクシミリ：052-972-6075

メールアドレス：bunka@pref.aichi.lg.jp